

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
伊豫雅臣 藤崎美久 羽間京子		伊豫雅臣	第一回千葉司法精神保健研究会-鑑定入院について-		千葉	2006	
伊豫雅臣, 橋本謙二, 藤崎美久, 小松尚也, 岡田真一	刑事事件と精神鑑定 Ⅱ 刑事精神鑑定の実際 脳器質的検査	松下正明	司法精神医学2	中山書店	東京	2006	82-99

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
橋本謙二 伊豫雅, 藤崎美久	千葉県における精神鑑定、措置入院治療等の実態に関する調査研究	千葉医学雑誌	未定	未定	2006

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
柑本美和	イギリスの環境刑法	町野朔	環境刑法の総合的研究	上智大学出版会	東京	2003	
岡田幸之		坂井聖二監訳	虐待された子ども—ザ・バタード・チャイルド—	明石書店	東京	2003	
松本俊彦	IV 薬物乱用防止対策	小阪憲司, 谷野亮爾	改訂第3版精神保健福祉士養成セミナー第2巻 精神保健学	へるす出版	東京	2004	104-119
松本俊彦, 山口亜希子 (共訳)			自傷行為—実証的研究と治療指針—	金剛出版	東京	2005	
松本俊彦	女性と薬物依存症	油井邦夫・相良洋子・加茂登志子	実践 女性精神医学——ライフサイクル, ホルモン, 性差.	創造出版	東京	2005	218-231
松本俊彦			薬物依存の理解と援助—「故意に自分の健康を害する」症候群—	金剛出版	東京	2005	
岡田幸之	成年後見制度における精神科医の役割	保坂隆	:精神科 専門医にきく最新の臨床.	中外医学社	東京	2005	292-295
吉川和男	医療観察法と精神鑑定-制度の概要と精神鑑定の役割-	総編集: 松下正明、編集: 山内俊雄・山上皓・中谷陽二	司法精神医学 2. 刑事事件と精神鑑定	中山書店	東京	2006	32-38
吉川和男	精神障害と犯罪-統合失調症と犯罪-	総編集: 松下正明、編集: 山内俊雄・山上皓・中谷陽二	司法精神医学 3. 犯罪と犯罪者の精神医学	中山書店	東京	2006	202-210
吉川和男	司法精神医療に必要な知識-リスクアセスメントの理論と実践-	総編集: 松下正明、編集: 山内俊雄・山上皓・中谷陽二	司法精神医学 5. 司法精神医療	中山書店	東京	2006	296-303

竹島正、立森久照、吉川和男	精神医療と心神喪失者等医療観察法の運用-指定通院医療機関	総編集：松下正明、編集：山内俊雄・山上皓・中谷陽二	司法精神医学 5. 司法精神医療	中山書店	東京	2006	221-226
岡田幸之、安藤久美子	諸外国における刑事精神鑑定-アメリカ訴訟能力の判定	総編集：松下正明、編集：山内俊雄・山上皓・中谷陽二	司法精神医学 2. 刑事事件と精神鑑定	中山書店	東京	2006	270-276
安藤久美子、岡田幸之、小泉義紀	諸外国における刑事精神鑑定-カナダ司法システムと精神鑑定	総編集：松下正明、編集：山内俊雄・山上皓・中谷陽二	司法精神医学 2. 刑事事件と精神鑑定	中山書店	東京	2006	283-290
岡田幸之	犯罪行動の類型的考察-主要刑法犯(殺人・強盗・放火)		司法精神医学 3. 犯罪と犯罪者の精神医学	中山書店	東京	2006	46-55
安藤久美子、岡田幸之	司法システムにおける触法精神障害者の処遇-その現状と問題点		司法精神医学 5. 司法精神医療	中山書店	東京	2006	50-60
岡田幸之、安藤久美子	司法精神医学関連学会の現状と課題		司法精神医学 5. 司法精神医療	中山書店	東京	2006	96-99
松本俊彦、小林桜児	薬物関連障害と犯罪		司法精神医学 第3巻 犯罪と犯罪者の精神医学	中山書店	東京	2006	217-231
下津咲絵			『ナーシングケアQ&A-精神的ケアQ&A-』	総合医学社	東京	2006	226-229
吉川和男	第6章我が国の精神保健福祉制度-4 心神喪失者等医療観察法	松下正明・坂田三充・樋口輝彦	新クイックマスター精神看護学	医学芸術社	東京	2006	220-226
岡田幸之、金吉晴、岩井圭司	PTSDの精神鑑定ガイドライン.		心的トラウマの理解とケア 第2版.	じほう	東京	2006	
岡田幸之	辞書項目(「措置入院」「行為障害」「少年非行」「性犯罪」「マインド・コントロール」「偶発犯罪者」「精神鑑定」)		南山堂医学大辞典改訂19版	南山堂	東京	2006	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yoshikawa K, Taylor PJ.	Editorial: New forensic mental health law in Japan	Criminal Behaviour and Mental Health	13(4)	225-8	2003
岡田幸之、安藤久美子	成年後見制度における精神科医の新しい役割－精神鑑定とICF	最新精神医学	9(1)	7-13	2004
松本俊彦	摂食障害と覚醒剤依存－乱用物質の食行動への影響－	心身医学	44(2)	99-104	2004
Matsumoto T, Azekawa T, Yamaguchi A, Asami T, Iseki E	Habitual self-mutilators in Japan	Psychiatry and clinical neurosciences	58	191-198	2004
Matsumoto T, Yamaguchi A, Chiba Y, Asami T, Iseki E, Hirayasu Y	Patterns of self-cutting: A preliminary study on differences in clinical implications between wrist- and arm-cutting using a Japanese juvenile detention center sample	Psychiatry and clinical neurosciences	58	377-382	2004
岡田幸之、松本俊彦、安藤久美子、吉川和男	能力評価と診断書・鑑定書－ICFの利用の実際－	臨床精神医学	33	1131-1139	2004
松本俊彦、上條敦史、山口垂希子、岡田幸之、吉川和男	覚せい剤依存症成人患者における注意欠陥/多動性障害の既往－Wender Utah Rating Scaleを用いた予備的研究	精神医学	46	89-97	2004
松本俊彦、岡田幸之、柑本美和、吉川和男	法的措置（通報義務）と物質依存・乱用－特集 物質依存症の現状と治療－	精神科治療学	19	1433-1439	2004
Matsumoto T, Yamaguchi A, Chiba Y, and Asami T, Iseki E, Hirayasu Y	Self-burning versus self-cutting: Patterns and implications of self-mutilation; A preliminary study of differences between self-cutting and -burning in a Japanese juvenile detention center	Psychiatry and clinical neurosciences	59	62-69	2005

Matsumoto T, Kamijo A, Yamaguchi A, Iseki E, Hirayasu Y	Childhood histories of attention-deficit/hyperactivity disorders in Japanese methamphetamine and inhalant abusers: A preliminary report	Psychiatry and clinical neurosciences	59	102-105	2005
吉川和男、岡田幸之、松本俊彦、柑本美和、野口博文	心神喪失者等医療観察制度におけるモニタリング研究	犯罪学雑誌	71(1)	1-21	2005
柑本美和	ドメスティック・バイオレンスを目撃した子どもたち—法的対応のあり方とその課題.	警察政策	7	79-103	2005
柑本美和	イギリスにおけるDV加害者対策—加害者更生プログラムを中心として	トラウマティック・ストレス	3 (1)	37-48	2005
下津咲絵、堀川直史、坂本真士、坂野雄二	: 統合失調症におけるセルフスティグマとその対応	精神科治療学	20	471-475	2005
吉川和男	指定通院医療機関と地域社会における処遇上の問題点	日精協誌	24	40-44	2005
Matsumoto T, Yamaguchi A, Asami T, Kamijo A, Iseki E, Hirayasu Y, Wada K	Drug preferences in illicit drug abusers with a childhood tendency of attention-deficit/hyperactivity disorder: A study using the Wender Utah Rating Scale in a Japanese prison	Psychiatry and clinical neurosciences	59	311-319	2005
Matsumoto T, Yamaguchi A, Asami T, Okada T, Yoshikawa K, Hirayasu Y	Characteristics of self-cutters among male inmates: Association with bulimia and dissociation	Psychiatry and clinical neurosciences	59	319-326	2005
吉川和男	精神医学用語解説—296. 心神喪失等医療観察法—.	臨床精神医学,	34	839-840	2005
吉川和男	書評 Conduct and Oppositional Defiant Disorders - Epidemiology, Risk Factors, and Treatment (行為と反抗挑戦性の障害—疫学、危険因子、治療). Cecilia A. Essau編	犯罪学雑誌	71(4)	125-131	2005

松本俊彦, 山口亜希子	嗜癖としての自傷行為	精神療法	31 (3)	329-332	2005
松本俊彦, 山口亜希子, 阿瀬川孝治, 越 晴香, 持田 恵美, 小西 郁, 伊丹 昭, 平安良雄	過量服薬を行う女性自傷者の臨床的特徴: リスク予測に向けての自記式質問票による予備的調査	精神医学	47	735-743	2005
松本俊彦	薬物依存者の支援と更生のあり方について—矯正施設に期待すること—	刑政	116 (9)	24-36	2005
下津咲絵, 坂本真士, 堀川直史, 富高辰一郎, 坂元 薫, 坂野雄二	受療行動に関するセルフエフィカシー尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	行動医学研究	11	7-13	2005
松本俊彦, 山口亜希子	自傷行為の嗜癖性について—自記式質問票による自傷行為に関する調査—	精神科治療学	20	931-939	2005
松本俊彦, 阿瀬川孝治, 山口亜希子, 持田恵美, 越 晴香, 小西 郁, 伊丹 昭, 平安良雄	過量服薬を行う女性自傷患者の臨床的特徴 第2報. —食行動異常との関連について	精神医学	47	1093-1101	2005
境泉洋, 川瀬英理, 下津咲絵, 坂野雄二	怒り喚起状態における自動思考と行動が怒り低減に及ぼす影響—Thought List法による検討—	早稲田大学臨床心理学研究	4	69-80	2005
吉川和男	心神喪失者等医療観察法制度における精神医療-矯正施設への影響と課題-	こころの臨床 a la carte	24	329-334	2005
岡田幸之	:PTSDと法律をめぐる問題—医学的評価と法的判断—	看護技術	10	58-63	2005
岡田幸之	刑事責任能力再考—操作的診断と可知論的判断の適用の実際	精神神経学雑誌	107 (9)	920-935	2005
松本俊彦	摂食障害とそれをめぐる諸問題—自傷・薬物依存との関連—	神奈川県立こども医療センター医学誌	34 (4)	181-189	2005
Matsumoto T, Okada T	Outwardly and inwardly directed aggression in male inmates with childhood hyperactivity by the Wender Utah Rating Scale	Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica	72	1-7	2006

松本俊彦, 岡田幸之, 千葉泰彦, 安藤久美子, 吉川和男, 和田 清	少年鑑別所男子入所者におけるアルコール・薬物乱用と反社会性の関係—Psychopathy Checklist Youth Version (PCL: YV) を用いた研究—	日本アルコール薬物医学会誌	41	59-71	2006
吉川和男	「医療の必要性」の判定基準と鑑定のあり方	臨床精神医学	35	251-257	2006
Izutsu T, Shimotsu S, Matsumoto T, Okada T, Kikuchi A, Kojimoto M, Noguchi H, Yoshikawa K	Deliberate Self-Harm and Childhood Hyperactivity in Junior High School Students	European Child & Adolescent Psychiatry	14	1-5	2006
岡田幸之	米国の法廷の中のPTSD.	トラウマティック・ストレス	4	9-14	2006
松本俊彦	青年期の薬物依存について. 特集—一般精神科臨床と児童精神科臨床の機能関係 I	精神科治療学	21 (3)	273-280	2006
松本俊彦	自傷行為	心と社会	123	70-80	2006

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
宮本真巳			精神看護と法・理論	中山書店		2006	
宮本真巳 佐藤るみ子	司法精神医療の看護、新クイックマスターセンター			医学芸術社		2006	673-680
宮本真巳	援助技法としてのプロセスレコード			精神看護出版		2003	
宮本真巳	事例検討という方法		精神科看護の専門性を目指してⅡ 専門基礎編 (改訂版)	精神看護出版		2002	
宮本真巳	精神科における看護とは		看護のための最新医学講座12精神疾患	中山書店		2002	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
宮本真巳	医療観察法と多職種連携	臨床精神医学	35	277-285	2006
	司法専門病棟から発信する精神医療改革	精神看護			2003
宮本真巳	触法精神障害者のケアに何が求められているか	精神科看護			2003

平成 15～17 年度厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）
「触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価、治療、社会復帰等に関する研究」

総合研究報告書

平成 17 年度総括・分担研究報告書

発行	平成 18 年 3 月
発行者	松下 正明（主任研究者）
連絡先	東京都立松沢病院 〒156-0057 東京都世田谷区上北沢 2-1-1 TEL : 03-3303-7211 FAX : 03-3329-7586